

自分もひとと大切に作る標語

校長 松本 雅史

6 月も半ばに入りました。

先々週の土曜日、8 日は、「こだいの特活の日」でした。この日は、小平市内の全ての小学校と中学校で、学級会の授業が行われました。そして、その様子を保護者や地域の方々に公開し、みんなの学びの様子をみていただきました。

学級会の授業はとても大切な学びです。それは、自分たちの問題は自分たちで話し合い、自分たちで解決していくということです。例えば、新しいクラスがスタートし、新しい仲間と出合って、この仲間と最高のクラスをつくっていきたいと思ったとします。この「最高のクラスをつくっていきたい」という思いが、「どうしたら最高のクラスをつくっていけるか」という問題につながります。

そこから、

「最高のクラスって何だろう？」

と、一人一人のイメージをはっきりさせることも大切になるでしょう。

「もっとなかよくなりたい」

「いじめのないクラスにしていきたい」

「落ち着いて勉強ができるクラスにしていきたい」

など、様々な思いが交流される中で、

「クラスの目標を決めよう」

「クラスでレクリエーションをしよう」

「クラスのルールを決めよう」

と、話し合いがすすむでしょう。

このように、毎日を笑顔で充実したものにしていくために、話し合いをするのです。時には、先生方に頑張ってもらって、いいクラス、いい思い出をつくってもらおうということもあるかもしれませんが、「自分たちの笑顔は自分たちでつくる！」という生き方を学ぶのが学級会です。

その時に大切なのが、「自分もひとも大切にする」ということです。

「自分さえよければいい」というのは、違います。それと同じように、「自分さえがまんすればいい」というのも違います。

「自分もひとも、みんなが大切にされる」クラス、学校をつくっていくことが大切なのです。

6月8日の「こだいら特活の日」の午後に、小平市内の全小中学校の児童・生徒の代表が集まって「サミット」を行いました。そこでは、各校で話し合ってきた「自分もひとも大切に作る」キーワードを元に、中学校区ごとに「自分もひとも大切に作る標語」をつくりました。

五小は、花小金井南中学校区です。花小金井小学校、小平第八小学校、花小金井南中学校と五小で話し合いました。

中学生が話し合いをととても丁寧にすすめてくれ、花小金井南中学校としての標語が決まりました。

「相手を尊重して笑顔を増やそう」
です。

この標語を全校のみんなで大切にし、自分もひとも大切にされる学校をみんなの手でつくっていきましょう。

これで、今朝のお話を終わります。